

清恵会医療専門学校 第1看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標を学生ガイダンス、ホームページ、学生募集要項に記載し、入学時だけではなく、実習ガイダンス等学生に周知するよう努めている。	教育理念・目的・目標は、募集要項やHPに掲載している。入学時に学則や新生ガイダンス、教育カリキュラム要項等を配布し、時間をかけて説明している。教育活動全般に核となる内容を押さえながら実践していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門の知識・技術・態度を育成し100%の就職率を維持しているが、社会の変化に対応した専門職としての資質は十分とはいえない。コロナ禍において実習内容の制限により技術は未熟であるが教育用の電子カルテを導入し臨床判断能力向上への取り組みを行っている。	専門の知識・技術・態度を身につけ、社会に対応できる看護専門職の育成に努めており、就職率は100%である。看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標をもとに母体病院との連携を図り、継続した人材育成を行う。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念に掲げてある「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」を基盤に、専門職としての技術・知識・態度を修得できるよう、講義・実習の充実に取り組んでいる。	アクティブラーニングを活用した授業、演習を取り入れ、母体病院の医師や看護師を講師に招き専門性の高い教育活動を実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムを見据えた教育内容の構成に取り組んでいるが、今後の大学化や4年制への将来構想は明確化されていない。カリキュラム改正後の看護教育の充実に向けた準備を行っている。	地域包括ケアシステムの構想を踏まえ、あらゆる場所で活躍できる看護専門職の育成、さらに臨床判断能力、コミュニケーション力、多職種連携、保健指導力を身につけ、人々のニーズに応えられる看護師の育成を目指している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められている。月1回の運営会議を開催し、状況報告や理事会の報告、また決定した方針等は他学科と共有している。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議により、学校運営方針を確認し、看護学科、理学療法士科、診療放射線技師科と協働し、達成に向け取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められており、各学科の年間教育目標を設定している。また、学科目標から、各学年目標を設定し個人目標へ繋げている。	各施設の”ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略に基づき、事業方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、副学院長、事務長、各学科教務部長、教務科長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院運営会議を月1回実施し、学校運営の適正化を図っている。学則や細則、広報、行事、入試、学生の進級・卒業に関する事項などは、運営会議に審議し最終決定される。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長、副学院長、教務部長、教務科長、主任、専任教員で構成し、各学年は担任、副担任または担任補佐で構成されている。教育理念・教育目標を達成できるように、また各領域ごと指導体制が整うように教員を配置している。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められており、教務科長と主任を含む教員8名を配置し、専門領域を明確にしている。クラス運営や委員会活動等、必要な体制を整備している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料においては設置主体の法人の規定に基づき決定・策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラムを構成し、各年次の教育内容、実施方針を編成している。学生には入学時、各年次において説明し周知を行っている。	教育理念などに沿って教育課程を編成している。具体的な内容については教務科長および担任教員から学生に説明し周知を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各年次ごとの教育到達レベルを設定している。学則細則により、科目履修規定、評価点の基準を設定し、教員・学生の共有化を行っている。評価基準においては、ルーブリック評価を導入し、明確化を図っている。	年度毎に、教育目標の到達レベルを明確にし、年次目標に沿って学生が目標を掲げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、学生の状況にあわせた教育内容に取り組んでいる。月1回の学科会議を開催し、内容の検討を行っている。また、教科外活動は学生の態度面や感性の育成を重視した内容としている。新カリキュラム内容は実施に向けて準備を進めている。	新カリキュラムを機に改めて教育目的・目標に沿った教育課程について検討・編成した。専任教員間で共通認識をもち、一貫性のある継続教育が実践できるように準備を進める。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義においては、シラバスをもとに内部・外部講師の共有を図っている。実習では設置母体および他施設との合同調整会議を実施し、意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進捗状況など情報を共有し、意見を取り入れている。今後も、卒業生の意見を募り、学生が興味や関心が持て主体的に学べる教育課程編成を継続する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得に向けた取り組みを行っている。また、コロナ禍において、換気や密を避ける工夫を行いながら他学年との交流を行い、学習の意識づけや専門職としての自覚を育成している。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会人基礎力の修得に向けた教育や専門職業人に必要な自己啓発への動機付けを行っている。母体病院で活躍する認定看護師や看護管理者を講師として招き将来をイメージできる機会を増やす。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に定められた専任教員数は確保できているが、大阪府看護教員養成講習会の未受講教員がいる。	看護師養成所の設置基準である臨床経験5年以上の条件は満たしているが、大阪府教員養成講習会の未受講教員が1名いる。未受講教員は当学院で教育経験を積みながら、今後受講していく予定である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1回/年以上の研修参加を推奨しているが、コロナ禍により自粛傾向であった。そのため、学内の教務会を活用し、資質向上への取り組みを行っている。教員指導・教育では、学生の状況に合わせた教授方法や経験年数に合わせた段階的な指導を行い、教育力の向上に努めている。	コロナ禍により対面型の外部研修は自粛となり、オンラインでの研修や学会に限定された。状況に合わせて施設内での勉強会や伝達講習会などを開催し、教員の質向上を図る。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を行い、結果は各教員にフィードバックし次に活かすようにしている。実習においては、中間評価により後半への課題の明確化を行い目標が達成できるように関り、最終評価に繋げている。	学生の授業評価は実施しており、各教員で授業の振り返りを行い、次の授業に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則・成績査定内規により、「単位認定」「学習評価」「追・再試験」「臨地実習評価」等の科目履修許可及び卒業に関する必要事項を定めている。また、留保された科目についても「認定試験」として規定を定めて運用している。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、審議している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	例年は、協同学習・ボランティア発表を行っているが、コロナ禍により学内での協同学習の発表にとどめている。各学年とも実習終了後の報告会では発表方法を工夫し教員も参加し、学びの共有・成果の把握をしている。	課題学習発表会、実習報告会、事例研究発表会など、コロナ禍においても学習共有の場が狭まることのないよう、感染対策を講じながら学年で企画・実施を工夫した上で学科の教員も参加し、成果を把握している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の取得が目標であることは、入学時ガイダンスから始まり各実習ガイダンスで意識づけを行っている。国家試験を最終目標とし、逆向きに段階的な目標設定を意識づけている。	看護師国家試験受験資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程が資格取得の体系的な位置づけになっている。国家試験対策教員が年間計画を立て、明確化し、支援している。また、学科内で傾向と対策を立て、学生の状況に合わせた支援を行っている。	国家試験対策委員を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は、卒業時に100%であった。設置主体法人への就職率は昨年度と同様で70%を超えている。	就職率は100%を維持しているが、母体病院への就職率を上げるための取組みを協働で取り組む。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	定期的な模擬試験や補講を行い、1年次より国家試験合格に向けて取り組んでいる。2021年度の看護師国家試験合格率は95.1%であった。既卒生においては、学習とメンタル面のサポートを行い合格率100%であった。	模擬試験や補習講義の成果を確認し、個別の学習対策やメンタルサポートを実施している。生活習慣改善に向けた指導を強化し、自ら体調管理ができ、実力を発揮できるように取り組む。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	クラス担任・副担任が窓口になり学科の教員で支援を行っている。メンタルサポートが必要だと判断した学生は、スクールカウンセラーに繋げ、支援する体制を整備している。	担任を中心に個別の学生の面談や相談を行っている。学業不振や登校の状況が気になる学生には早期に対応し、保護者にも協力を依頼している。スクールカウンセラーを設置したことでメンタルサポートの体制も充実できた。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	日本学生支援機構の他、法人の奨学金制度を案内しており、8~9割の学生が奨学金を受けている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績不振学生の保護者とも面談を行い、状況を把握した上での学生支援に係る協力を得ている。保護者への説明会や懇談は実施していないが、連絡があった場合は即座に対応し、合意を得られるようにしている。	成績不振者や出席が常でない学生に対し、保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し連携体制を構築している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	教育上必要な最低限の教育用具は整備されており、随時購入している。校舎は、40年以上経過しており老朽化がみられるが、学生の学習に影響が出ないよう随時補修し環境改善は行われている。	施設や設備は老朽化しているが改修工事により環境は整備されている。コロナ禍においては必須となるICT機材や教育用具は整備されている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	災害発生時の基本方針は定められたが、防災訓練は実施できておらず、帰宅困難時の備蓄も整備されていない。災害時安否確認のシステム構築は連絡網による整備が進められている。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の内容や時期の見直し、災害時安否確認システムの整備、訓練などは喫緊の課題である。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	高等学校訪問を行い、接続する教育機関に対する情報提供を行っている。例年実施している進路指導教諭対象の説明会及び大阪府の進学相談会への参加は、コロナ禍により行っていない。	高校教諭対象の進学相談会を実施していたが、コロナ禍により中止となった。大阪府看護学校協議会及び大阪府看護協会の共催で実施している進学相談会入試一覧表には毎年情報を提供している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	感染予防のため、大阪府看護協会主催の進学相談会と学校見学会は実施出来なかった。しかし、オープンキャンパスは感染防止対策を講じて実施できた。また、ホームページには学生の状況など学校生活がイメージできる内容を掲載するようにしている。	感染防止対策を継続しながら、可能な範囲でオープンキャンパスの実施をしていく。また、ホームページの内容の充実を図り、学生募集活動に取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	今後、18歳人口の減少と養成校の乱立により受験生の確保が難しい状況になると予想される。この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。受験生は大幅な減少はなく、定員は確保できている。	学則・細則で入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい学生像を教員で話し合い、選考基準を検討した。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財 務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法 令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱うようにしている。実習前には実習ガイダンス等で注意喚起を行い、実習での個人情報の取り扱いについては、誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努めている。	学生や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育評価(授業評価・実習評価)を 実施することで問題点を明確にし ている。教育活動においては、教 員の意見を吸い上げ会議に諮るな ど、改善策へとつなげるように活動 している。	年に1度、自己評価を実施してい る。問題点の改善については、そ の都度見直しを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。